

リハビリテーション医学

担当講座	リハビリテーション医学講座	問合せ先	リハビリテーション医学講座
分野責任者	西村 行秀 教授	連絡先	内線 3733
担当教員	西村 行秀 教授		
人材育成の 基本理念	リハビリテーション医療に係る疾患の病因・病態の知識を修得、治験を究明し、診療に活用できる人材を育成する。		
主な研究内容	リハビリテーション医学・医療についての効果、リハビリテーション治療の効果についての研究をおこなう。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	リハビリテーション医学に重要な解剖学的な知識や生理学的な知識を深め、リハビリテーション治療の効果を生み出すことができる。リハビリテーション医学の基礎研究ならびに臨床研究を行うことにより、リハビリテーション医学に精通した全人的な療法士になることができる。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。	ベーシックセミナー、リハビリテーション医学特論１・２	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、リハビリテーション医学特論１・２	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、リハビリテーション医学特論１・２	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる（英文が望ましい）。	特別研究ⅠⅡⅢ、リハビリテーション医学特論１・２	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、リハビリテーション医学特論１・２	
	(6) 次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)リハビリテーション医学の基礎的知識を明確かつ平易に説明できる。	リハビリテーション医学1・２	
	(8)理学療法、作業療法、言語聴覚療法の効果と特性を説明できる。	リハビリテーション医学1・２	
	(9)リハビリテーション治療の効果を十分に説明できる。	リハビリテーション医学1・２	
	(10)リハビリテーション医学に関する基礎研究ならびに臨床研究を行うことにより、リハビリテーション治療に反映できる。	リハビリテーション医学1・２	
資格取得等			
履修に関する 情報	本科目は、リハビリテーション医学専攻の学生のみ受講可能である。履修申請の際には事前相談に応じる。 (問合せ先：リハビリテーション医学科・内線 3733)。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	必修	1～4年	講義	リハビリテーション医学特論1	通年	45	6	20単位	
			講義	リハビリテーション医学特論2	通年	45	6		
			実習	リハビリテーション医学1	通年	60	4		
			実習	リハビリテーション医学2	通年	60	4		
特別 研 究	必修	2年		特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
		3年		特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
		4年		特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

リハビリテーション医学

コード	MD15261010					MD15261020					MD15261030					MD15261040				
科目	リハビリテーション医学特論 1					リハビリテーション医学特論 2					リハビリテーション医学1					リハビリテーション医学2				
科目責任者	西村行秀					西村行秀					西村行秀					西村行秀				
担当者	西村行秀					西村行秀					西村行秀					西村行秀				
会場	リハビリテーション医学科医局					リハビリテーション医学科医局					リハビリテーション室					リハビリテーション室				
区分等	区分	講義	単位	6		区分	講義	単位	6		区分	実習	単位	4		区分	実習	単位	4	
	回数	通年45コマ	配当年次	1～4		回数	通年45コマ	配当年次	1～4		回数	通年60コマ	配当年次	1～4		回数	通年60コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	リハビリテーション医学の基礎研究および臨床研究の行い方					リハビリテーション医学に関する英語論文の書き方					リハビリテーション医療の実際1					リハビリテーション医療の実際2				
教育成果	リハビリテーション医学に重要な解剖学的な知識や生理学的な知識を深め、リハビリテーション治療の効果を生み出すことができる。リハビリテーション医学の基礎研究ならびに臨床研究を行うことにより、リハビリテーション医学に精通した全人的な療法師になることができる。					リハビリテーション医学に関する英語論文が書ける。					リハビリテーション医療について学び、その基本的な病態と診断・治療が理解できるようになる。					リハビリテーション医療について学び、その専門的な病態と診断・治療が理解できるようになる。				
コンビ・テンス番号/達成度	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A
	C	C	C			B	B	B			B	B	B			A	A	A		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。										各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。									
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MD15269010					MD15269020					MD15269030									
科目	特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ					特別研究Ⅲ									
科目責任者	各（正）指導教員					各（正）指導教員					各（正）指導教員									
担当者	各指導教員					各指導教員					各指導教員									
会場	各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定									
区分等	区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	2						
	回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年15コマ	配当年次	4						
主な授業内容	・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備					・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備					・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備									
教育成果	生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜初期審査＞ 2 年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。 研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜中間審査＞ 3 年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。 研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 ＜論文作成＞ 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。									
コンビ・テンス番号/達成度	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5					
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A					
	コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8							
	C	C	C			B	B	B			A	A	A							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。									
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																			
講義日程																				
教科書参考書																				

●時間割

リハビリテーション医学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20	リハビリテーション医学1・2					共通教育科目
2 限	10：30～12：00	リハビリテーション医学1・2					
3 限	13：00～14：30	リハビリテーション医学1・2					
4 限	14：40～16：10	リハビリテーション医学1・2					
5 限	18：00～19：30		リハビリテーション医学特論1・2	特別研究Ⅰ～Ⅲ			
6 限	19：40～21：10		リハビリテーション医学特論1・2				
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20	リハビリテーション医学1・2					共通教育科目
2 限	10：30～12：00	リハビリテーション医学1・2					
3 限	13：00～14：30	リハビリテーション医学1・2					
4 限	14：40～16：10	リハビリテーション医学1・2					
5 限	18：00～19：30		リハビリテーション医学特論1・2	特別研究Ⅰ～Ⅲ			
6 限	19：40～21：10		リハビリテーション医学特論1・2				

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						